

2014年9月19日改訂版

阪 口 功

isao.sakaguchi@gakushuin.ac.jp

TEL : 03-3986-0221 内線 4820

法学部共同研究室 内線 4800, 4801, 4803

<http://www.cc.gakushuin.ac.jp/~20050137/index.html>

1. 授業内容

(1) 自由研究（1学期シラバスより）

- ・原則として「**仮説検証型**」の実証研究を課題とする。テーマは自由。
- ① 「何（事例）」を研究するのかをまず決定。課題は国際的な要素を含むものに限定。
- ② その事例において「なぜ（Why?）」または「どのようにして（How?）」という問い（基本的疑問）をいくつか立てる（1つでも可）。
- ③ その基本的疑問に対する仮の答え（仮説）を試行錯誤した上で、複数立てる。
- ④ 仮説を考える際、「国際政治 III」やゼミで学んだ理論を適用してみる。
- ⑤ 夏休み中に事例を深く調査、分析し、どの仮説が妥当するのか当たりをつける。
- ⑥ 二学期末にレポートを提出すること。横書き、40字×30行、「である調」で作成すること。最低でもA4で8枚以上、10000字相当（表紙をのぞく）で作成すること。枚数の上限はなし。
- ⑦ レポートを作成する際、他人の文献（ホームページも含む）に基づいて記述した箇所には注を付けて引用文献を明らかにすること。これをしないと盗作、剽窃になるため、**注のない論文は未提出の扱いとする**。なお、参考文献目録は注ではない点に注意すること。注の書き方については「政治学科基礎演習のしおり」を参照。

(2) 教科書と事例研究を読む

- ・教科書は、章ごとに要点、考察、疑問点をまとめ **G-Port に授業前にアップ**すること。
- ・事例研究は、各論文の優れた点と問題点、改善方法をまとめ **G-Port に授業前にアップ**すること。
- ・いずれも、期限までにアップしなかった場合は欠席扱いとする。
- 教科書
 - ・ジョセフ・ナイ『国際紛争』有斐閣、2013年。
- 学術論文
 - ・宮岡勲「『規範の学校』としての欧州安全保障協力機構」『国際政治』144号（2006年2月）
 - ・和田洋典「アメリカ型規制国家のグローバル化と制度的多様化」『国際政治』153号、2009年
 - ・五十嵐誠一「東南アジアの新しい地域秩序とトランスナショナルな市民社会の地平」『国際政治』158号、2009年。
 - ・福田円「中仏国交正常化（1964年）と「一つの中国」原則の形成—仏華断交と「唯一の合法政府」をめぐる交渉」『国際政治』163号、2011年
 - ・山尾大「反体制勢力に対する外部アクターの影響：イラク・イスラーム主義政党の戦後政策対立を事例に」『国際政治』166号、2011年。
 - ・水田慎一（2011）「紛争後平和構築における民主的制度導入による持続可能な平和実現のための条件」『国際政治』165号
 - ・崔慶原「日韓安全保障関係の形成—分断体制下の『安保危機』への対応、1968年」『国際政治』170号、2012年。
- ※ 随時追加予定

2. スケジュール

(1) 09月19日：ガイダンス

(2) 09月26日：

- ・ 『国際紛争』1章「世界政治における紛争と強調には一貫した論理があるか？」
- ・ 『国際紛争』2章「紛争と協調を説明する」
- ・ 『国際紛争』3章「倫理的問題と国際政治」
- ・ 『国際紛争』4章「集団安全保障の挫折と第二次世界大戦」

(3) 10月03日：休講（科研費説明会のため）

(4) 10月10日：

- ・ 『国際紛争』5章「冷戦」
- ・ 『国際紛争』6章「冷戦後の協調、紛争と引火点」
- ・ 『国際紛争』7章「グローバリゼーションと相互依存」
- ・ 『国際紛争』8章「情報革命と脱国家的主体」

(5) 10月17日：四大戦休講

(6) 10月24日 5限：アドバンスト・プロポーサル報告①：能登、笠原、香田、福田、神崎

(7) 10月24日 6限：アドバンスト・プロポーサル報告②：蛭谷、竹中、横田、綿貫、田中

(8) 10月31日 学園祭休講

(9) 11月07日：アドバンスト・プロポーサル報告③：川嶋、中邨、小川、大館、佐土原

(10)11月14日 学会休講 ※ 合同ゼミ準備

(11)11月21日 事例研究を読む（3本）

(12)11月28日：合同ゼミ準備

(13)12月05日：合同ゼミ準備

(14)12月12日：合同ゼミ準備

(15)12月13日：合同ゼミ

(16)12月19日 3限：リサーチ報告①：福田、横田、大館、佐土原、中邨

(17)12月19日 5限：リサーチ報告②：能登、蛭谷、小川、香田、笠原

(18)12月19日 6限：リサーチ報告③：綿貫、川嶋、神崎、竹中、田中

(19)01月09日：予備日（やり直し組）

4. ゼミレポート提出について

- ・ 提出方法：G-Portにて
- ・ 提出期限：詳細は後日 G-Port に発表

5. ゼミ合宿について

- ・ 12月末
- ・ 1月初旬
- ・ 2月中旬から下旬